



田辺市新庄町発祥の品種「シンジョウ」。糖度は木熟で16%ほどになり、食味の良さと甘い香りが特長です。今年7月から出荷最盛期を見込んでいます。

紀南風物

李

スモモ

さわやかな初夏の味覚

初夏の果実を代表するスモモ。和歌山県の生産量は全国3位（平成22年度農水省統計より）、中でも紀南地方は県内有数の産地です。品種は「大石早生」を中心に「ソルダム」や「サンタローザ」などさまざま。また、地元生まれの品種に「シンジョウ」があり、生産量は少ないものの、食味の良さは市場や消費者から好評を得ています。

JAの紀菜柑には、地元ならではの木熟スモモが出荷されています。市場出荷のように、早めに収穫して追熟させるものではなく、木の上で十分甘味を乗せてから食べるスモモは格別！今年産は長雨の影響等で各品種とも生育が遅れていますが、期間の短い旬の味覚をぜひ堪能していただきたいものです。



JAの直売所「紀菜柑」で人気の木熟スモモ

代表的な紀南のスモモ



大石早生
日本で最も多く栽培されている品種。6月上旬から中旬に収穫最盛期を迎えるスモモのトップパスターです。甘酸っぱくてさわやかな食感が特長で、熟度が増すほど赤くなります。



ソルダム
「大石早生」に続く品種で、果皮はハクをついた緑色に紅が差し、果肉は赤色。甘味と酸味のバランスが良い人気の高いスモモです。7月上旬から収穫ピークを迎えます。



サンタローザ
アメリカと日本のスモモを交雑して育成された品種です。果皮は鮮やかな赤に染まり、糖度が高くほどよい酸味に加え、甘い香りが特長。7月から本格的に収穫が始まります。

熟度が増すほどおいしくなります。食べ比べしてお楽しみください！

味重視の栽培を心掛けています



スモモ生産者

はまもと けんさく 濱本 賢作さん (33) 田辺市新庄町

スモモは「大石早生」を主力に約70㊦栽培しており、とにかく味を良くする栽培を心掛けています。今年6月中旬雨が多く、日照不足などもあって環境は良くなかったですが、できる限り品質を高めて出荷したいと考えています。

地元生まれの「シンジョウ」は、味よし、香りよし、見た目よしの三拍子揃った品種で、7㊦ほど作っています。他の品種とは違い、栽培や出荷には一手間も二手間もかかりませんが、特に地元の皆さんに食べていただきたいですね。